

ごあいさつ

安心・安全の『癒しの里』きくちの実現に向けて



菊池市は平成27年3月で新市合併10周年を迎えました。

その間、旧4市町村の枠を超えた一体感の醸成と均衡ある発展を目指して、新たなまちづくりに取り組んできたところであります。

この10年の間に社会情勢は大きく変化を遂げております。

少子高齢化による人口の減少、それに伴う地域コミュニティ機能の低下、大きな自然災害を契機とした防災意識の高まり、さらには未だ低迷する景気の回復期待など、住民のニーズは複雑かつ多様化してきております。

このような社会の波は、本市においても例外なく押し寄せており、人口減少に伴う中山間地域の活性化対策、商店街の再興は急務の課題であり、社会情勢の変化に対応した安心・安全なまちづくりは行政の責務として取り組まなければなりません。

こうした状況を踏まえ、この度平成27年度から7年間のまちづくりの指針を示した「第2次総合計画」を策定しました。

「安心・安全な『癒しの里』きくち」をまちづくりの将来像に掲げ、中長期的な政策やその将来像を実現するための施策を具現化し、本市が進むべき道筋を示した計画となっております。

本市には、古くから受け継がれてきた豊かな自然や、伝統・歴史・文化といった数多くの誇るべき資産が眠っています。私たちは、その宝を今一度掘り起こし、さらに磨きをかけ次の世代へ引き継ぐのと同時に、その宝を活かしたまちづくりこそが地域の再興、そして「癒しの里菊池」の実現につながるものと確信しております。

自治体消滅という言葉すら聞こえるなか、地域の生き残りをかけた競争が始まっています。市民と行政がそれぞれの立場で役割を担い、責任を果たしながら協働と連帯によって英知を結集する、いわゆる「市民力」こそが生き残るための最大の力です。

市民一人ひとりが地域の主役となり、それぞれが成果を分かち合えるような元気のあるまちづくりを進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました菊池市総合計画策定審議会委員の皆様をはじめ、様々な機会を通してご意見をいただきました市民の皆様、ならびに関係各位に心からお礼を申し上げます。

平成27年3月

菊池市長

江頭 実